

「刈谷市環境都市アクションプラン〔平成 29 年改定版〕(案)」に対する 意見募集結果

【意見募集期間】

平成 28 年 11 月 15 日 (火) ~ 12 月 16 日 (金) の 32 日間

【計画案の閲覧場所】

刈谷市ホームページ、市政情報コーナー、環境推進課、市民交流センター、各市民センター（東刈谷・富士松・小垣江・北部）、各生涯学習センター（南部・北部）、総合文化センター、各図書館（中央・城町・富士松）、生きがいセンター、高齢者福祉センター（ひまわり）、一ツ木福祉センター

【意見を提出できる人】

市内在住、在勤または在学の人、市内に事務所または事業所を有する人、本計画に利害関係を有する人

【意見募集結果】

「刈谷市環境都市アクションプラン〔平成 29 年改定版〕」を策定するにあたり、その案を公表し、広く意見を募集した結果、6 通 28 件の意見をいただきました。

これらの意見の提出状況と刈谷市の考え方は次のとおりです。

◆意見提出状況

意見提出方法	人数・団体数 (通)	件数 (件)
直接持ち込み	2	3
郵送	0	0
Eメール	3	22
FAX	1	3
合計	6	28

◆提出された意見と市の考え方

(1) 産業・エネルギー分野について

	意見	市の考え方
1	エコアクション21の普及啓発、認証取得の支援のためにエコアクション21CO ₂ 削減プログラムのセミナーを開催できないか。	環境マネジメントシステムの導入支援としては、環境マネジメントシステムの重要性やメリット、支援制度等の情報をホームページ等に掲載することで、啓発に努めるとともに、エコアクション21の認証取得に向けたセミナーとエコアクション21認証取得イニシアティブ・プログラムを県との共催で実施していきたいと考えています。 【41ページ】
2	中小事業者の環境マネジメントシステム導入の課題となる人材確保を支援するため、先進企業の人材派遣等による仕組みづくりや人材育成、またはOBの雇用によって中小事業者の環境マネジメントシステム導入を支援してはどうか。	環境マネジメントシステムの導入支援につきましては、前述の記載内容を推進していきたいと考えていますが、今後の状況によっては、更なる推進を図る方策を考えていく必要も生じるとおられますので、その際にはいただいたご意見も参考に検討していきたいと考えています。 【41ページ】
3	CO ₂ 削減技術導入推進のため、グループ会社や中小事業者との連携について、行政から事業者へ依頼してはどうか。	事業者連携によるCO ₂ 削減技術導入につきましては、各事業所の動向に注視し、その取組について市のホームページで紹介する等、啓発に努めていきたいと考えています。 【42ページ】
4	廃熱利用や、大規模太陽光発電等のエネルギーの面的利用可否を市の一存で判断せず、調査・促進のための組織を立ち上げて支援してはどうか。	工場の排熱利用や大規模太陽光発電等の面的利用は、市の一存では決められない部分が多いですが、地球温暖化対策には有効であるため、再生可能エネルギー等の導入と並行して、関係機関と連携して検討していきたいと考えています。 【43ページ】
5	掲載の目標展開や方策等では目標達成は困難に思われるため、CO ₂ 排出量の多い産業部門への更なる協力を依頼するとともに、年1回の表彰制度や、アクションプラン推進会議を利用したフォローアップ等を実施してはどうか。	産業部門に限らず、目標達成のためには、各取組の実施、継続が必要となります。いただいたご意見を参考に、表彰等による奨励等の観点も含め、実施した取組を支援するため、「エコ事業所等のPR」や「市民の取組のPR」等による各種取組の支援方法について検討していきたいと考えています。 【44、57ページ】

6	再生可能エネルギーの啓発等を含め、水素エネルギーの実証実験のPRを市民が集まる場所で実施するのはどうか。	「まちのショーウィンドウ化」として各種取組のPR方法について検討していきたいと考えています。 また、イベント等、様々な機会を捉えて、更なる啓発に努めていきたいと考えています。 【45ページ】
---	--	---

(2) エコモビリティ分野について

	意見	市の考え方
7	レールライドを推進していくため、さらなる自転車利用の促進を検討してほしい。	ご意見をいただきました、サイクル&バス・レールライドの推進につきましては、駅周辺の駐輪場の整備や公共施設連絡バスのダイヤの見直し、バスロケーションシステム等の導入により、自転車及びバスの利用促進に努めていきたいと考えています。 【46、47ページ】
8	レンタカー業者との研究会立ち上げや、土地貸与によって、民間施設でのカーシェアリングの導入を行政で誘導してはどうか。	移動の際のCO ₂ 排出を削減するため、カーシェアリングや自転車利用等を活用することは、環境面でも大変有効な取組であると考えます。市としては今後の動向に注視しつつ、啓発等により推進に協力していきたいと考えています。 【46ページ】
9	自転車マップの更新頻度を大幅に増加してほしい。	自転車マップの見直し時期については、短い周期では改定箇所も少ないと思われますので、概ね5年サイクルで考えています。軽微な修正はホームページにて広報するとともに、大幅な見直しの必要が生じた際には、その都度検討して対応していきたいと考えています。 【47ページ】
10	電柱による路側帯の中断、街路樹の根による歩道の凸凹を、徒歩、自転車での実走調査によって危険箇所を把握し、担当部署と連携して即時対応してほしい。	道路等の危険箇所等につきましては、パトロール等により調査しています。 市役所内の連携を密にし、引き続き危険箇所等度の早期発見・対応に努めていきたいと考えています。 【48ページ】
11	エコモビリティを楽しく、健康にもよい活動として推進するため、県内の他市町村と連携したサイクリングロードやハイキングロード、またオアシス公園の整備をしてはどうか。	計画に記載の取組により、快適な道路空間を整備し、自転車や徒歩による移動を促進していきたいと考えています。 【48ページ】

12	エコドライブの推進の取組として、地区・校区・職場単位でエコドライブの啓発を実施し、目立つよう大きなステッカーを配布してはどうか。	エコドライブの推進につきましては、いただいたご意見も参考に、計画に記載の取組により、引き続き啓発に努めていきたいと考えています。 【48ページ】
----	--	---

(3) エコライフ分野について

	意見	市の考え方
13	市内で発生する廃棄食品の調査を実施し、市の機関やボランティア団体が活用できるような仕組みを作ることで、廃棄食品削減を推進してはどうか。	廃棄食品の削減は、環境面において重要であると考えていますので、いただいたご意見も参考に、まずは情報収集・検討を行い、廃棄食品削減を推進していきたいと考えています。 【50ページ】
14	生ごみたい肥づくり講座で配布している段ボールコンポストは、寿命が短く高価なため、費用等の問題から家庭で継続して実施することが難しい。費用対効果の高いコンポストの材料を無料で配布してはどうか。	講座では、水気に強いダンボールでできたキットを使用していますが、店舗等でもらえる丈夫な段ボール箱等、各家庭で準備できるもので工夫していただき、費用をかけずに実践していただければと考えています。 【51ページ】
15	レジ袋は有料化で減少したが、代わりに無料で配布されている薄いポリ袋等について環境影響などを調査し、対応策を講じるべきではないか。	いただいたご意見にありますポリ袋等、各店舗の事情によっては配布を中止することが難しいものもあるのではないかと考えます。 ごみの減量につきましては、レジ袋の有料化等、各事業所で可能な範囲でご協力いただくとともに、マイバッグの持参等について啓発に努めていきたいと考えています。 【51ページ】
16	現状 20 人余りの環境支援員を増やすため、市から ISO14001 を実践しているトヨタ系企業に支援員の選出を依頼してほしい。また、市内の全 23 地区に対して、環境支援員として活動する環境委員の選任と手当ての支給を依頼してほしい。	今年度も環境支援員の育成講座を実施していますが、受講生が少なく新たな支援員の確保が難しくなってきました。 いただいたご意見にありますように、企業等と連携して支援員の活動の活性化を図る等、今後の進め方等について支援員の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。 【52ページ】

17	環境支援員育成講座の受講生が減少しているとともに、現支援員も高齢化している。他市では同様の団体に企業も参加していることから、支援員の輪を事業者を含む形で広げたいけないか。	今年度も環境支援員の育成講座を実施していますが、受講生が少なく新たな支援員の確保が難しくなってきました。 いただいたご意見にありますように、企業等と連携して支援員の活動の活性化を図る等、今後の進め方等について支援員の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。 【52ページ】
18	耕作放棄地を市民が共同して米作りをする場所として提供できないか。	いただいたご意見につきましては、農地の保全・活用という面で関連する事業を推進していく際に参考にさせていただきたいと考えています。 【53ページ】
19	緑化舗装材による駐車場の緑化を推進してほしい。	緑化パーキングにつきましては、他市の公共施設等でも導入しているところもあり、地球温暖化対策に効果があると考えます。 今後、各施設等で駐車場を整備する際に参考にさせていただきたいと考えています。 【53ページ】
20	現存する雑木林、樹木、自然などを保護してほしい。	自然環境の保全につきましては、緑化等の推進とともに、緑・水辺の保全等、生態系ネットワークの形成を意識した保全に引き続き努めていきたいと考えています。 【53ページ】
21	枯れた松が目につくが、調査を実施しているのか。また、松くい虫等の被害が発生した際は、行政主導で広域対策等を実施するのか。	公園等に植栽された松の状況については、パトロール等により調査し、必要に応じて松くい虫防除対策を実施しています。 【53ページ】
22	街路樹に移入種を選定せず、生態系の保全を実施してほしい。	生態系の保全を含め、緑化等の推進は市としても取り組んでいる項目であり、いただいたご意見につきましては、街路樹選定の際の参考にさせていただきたいと考えています。 【53ページ】
23	環境関連団体が、市民レベルでの環境への取組を広げていくためには活動費用の拡充や活動拠点を提供する必要があるのではないか。	いただいたご意見を参考に、今後も環境関連団体のみなさんが活動しやすい支援を検討していきたいと考えています。 【56ページ】

24	<p>かりやエコポイントプロジェクトの一環として、環境家計簿の提出者へ発行している診断書について更に啓発を推進するとともに、評価やその後の省エネ活動について提案するなどフォローアップを行ってはどうか。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、環境家計簿の診断書についてわかりやすく周知していくとともに、継続して取り組んでいただけるよう、フォローアップ等についても検討していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【58ページ】</p>
----	--	--

(4) 分野共通について

	意 見	市の考え方
25	<p>ホームページの充実と合わせて、省エネや環境に関する情報を様々な媒体で市民へ提供をしてほしい。公共施設のロビー等に情報ディスプレイを設置するなど、ホームページに頼らず情報を受け取ることができるように工夫してほしい。</p>	<p>ホームページの内容を充実させるとともに、「まちのショーウィンドウ化」として各種取組のPR方法について検討していきたいと考えています。</p> <p>また、イベント等、様々な機会を捉えて、更なる啓発に努めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【45、59ページ】</p>
26	<p>市民の環境やエネルギーに対する意識はまだ低く、「人づくり」「広報の充実」「見える化」の方策を検討してほしい。</p>	<p>ホームページの内容を充実させるとともに、「まちのショーウィンドウ化」として各種取組のPR方法について検討していきたいと考えています。</p> <p>また、イベント等、様々な機会を捉えて、更なる啓発に努めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【45、59ページ】</p>

(5) その他

	意 見	市の考え方
27	<p>P8～15までに掲載されている図の中の1990年度を示す棒グラフへ部門別の%表示を記載してはどうか。</p>	<p>棒グラフにつきましては、年度ごとの全体の動きを見てもらうことを目的としているため、1990年度の棒グラフへ部門別の%表示を入れると、視覚的に見にくくなってしまうこと、また内訳の数値につきましては参考程度と考えていることから、表記につきましては案のままさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【8～15ページ】</p>
28	<p>計画の推進について、行政や市民といった枠組みではなく、自ら推進していくという意味で、「自分から」という言葉を追記してほしい。</p>	<p>ご意見でいただいた主旨は、各主体に期待される役割の中に“自ら”が進んで取り組むこととして含まれていると考えています。</p> <p style="text-align: right;">【62ページ】</p>